沼津工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	学外実習Ⅱ

科目基礎情報

科目番号	2022-165	科目区分	専門 / 選択
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	電気電子工学科	対象学年	4
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	なし		
担当教員	山之内 亘		

到達目標

1．実習をとおして学問の実際的意義を説明できる。
2．技術者としての労働観・職業観を説明できる。
3．実習の目的、実習の成果などを事前レポート・実施報告書・報告会をとおして説明できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	実習をとおして学問の実践的意義を具体的に説明できる.	実習をとおして学問の実践的意義を説明できる.	実習をとおして学問の実践的意義を説明できない.
評価項目2	技術者としての労働観・職業観を具体的に説明できる.	技術者としての労働観・職業観を説明できる.	技術者としての労働観・職業観を説明できない.
評価項目3	実習の目的，実習の意義を，事前レポート，実施報告書・報告会をとおして具体的かつ明確に説明できる.	実習の目的，実習の意義を，事前レポート，実施報告書・報告会をとおして説明できる.	実習の目的，実習の意義を説明できない.
評価項目4			

学科の到達目標項目との関係

【本校学習・教育目標（本科のみ）】 5

教育方法等

概要	長期休業中（原則として夏期休業中）に，企業または研究機関等において実習を行い，生産現場または研究機関等における研究・開発・生産などの活動を体験する．企業や大学、研究機関等での実習を通じて、実習先の研究者等、先輩技術者から指導を受け、これまでに学んだ知識を活かして実際の現場での技術を修得する。また、学外実習の経験を今後の学習及び自身のキャリア育成に役立て、技術者としての意識を高揚させることを目的とする。工業技術の体得とともに，実務経験を通じて技術者としての労働観，職業観を育成する．実施期間は2週間（60時間）とする。
授業の進め方・方法	受入先機関における実習実施期間は2週間（60時間）程度とする。
注意点	1.試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	☑ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンスⅠ	教育目標・授業概要・評価方法等の説明
		2週	ガイダンスⅡ	受入先機関選定の方法
		3週	事前研修Ⅰ	応募書類の作成方法
		4週	事前研修Ⅱ	事前レポートの作成
		5週	事前研修Ⅲ	合同事前研修
		6週	受入先機関での研修Ⅰ	内容は受入先機関との協議により決定
		7週	受入先機関での研修Ⅱ	内容は受入先機関との協議により決定
		8週	受入先機関での研修Ⅲ	内容は受入先機関との協議により決定
	2ndQ	9週	受入先機関での研修Ⅳ	内容は受入先機関との協議により決定
		10週	受入先機関での研修Ⅴ	内容は受入先機関との協議により決定
		11週	事後研修Ⅰ	実施報告書作成
		12週	事後研修Ⅱ	実施報告書作成
		13週	事後研修Ⅲ	プレゼンテーションの手法
		14週	事後研修Ⅳ	プレゼンテーション資料作成
		15週	事後研修Ⅴ	報告会
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		

		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	履歴書・エントリーシート	事前学習レポート	実施報告書	報告会	開始・終了報告	その他	合計
総合評価割合	10	25	25	30	10	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	10	25	25	30	10	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0